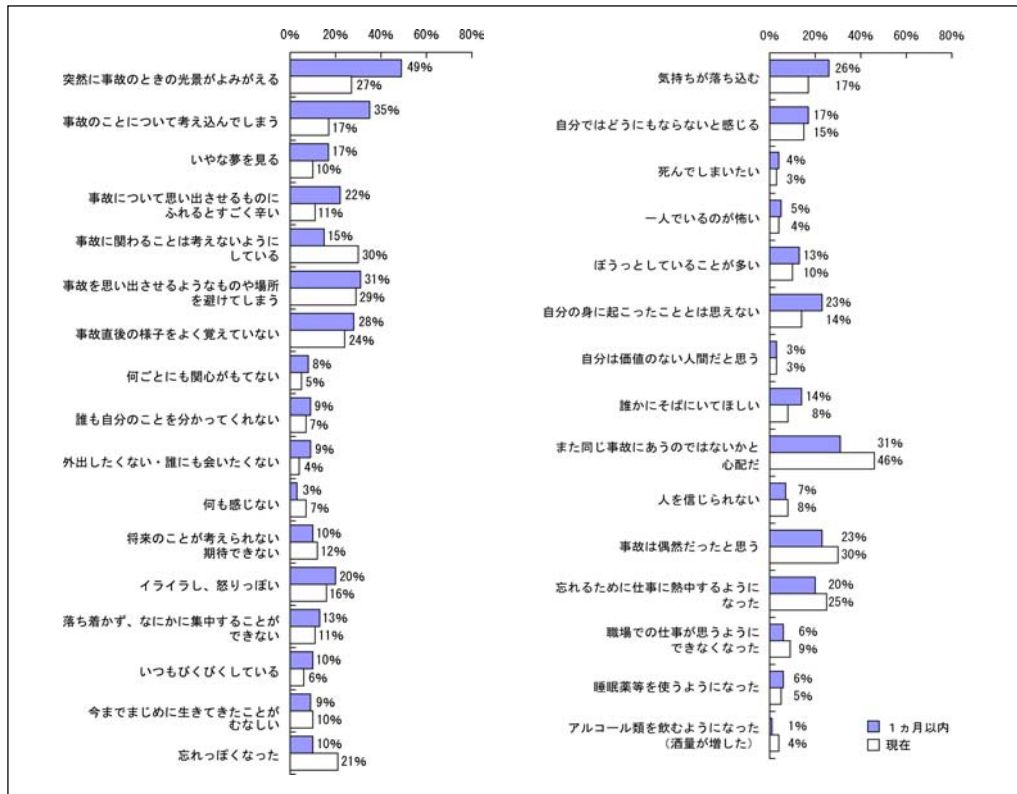




現在とは調査時点をいう

図-1 重傷事故被害者の精神的ストレス

(交通事故被害実態調査研究委員会編交通事故実態調査研究報告書 平成11年6月)より転載)

また、このことは事故から間もない時期では、被害者は事故の事実と直面することが難しい状況にあることを示している。この調査では、事故から時間が経っても被害者に精神的影響があることが明らかにされた。

調査時点（事故から1ヵ月以上経過後）で、最も多かったのは「また同じ事故にあうのではないかと心配だ（46%）」、「事故に関わることは考えないようにしている（30%）」であった。事故から時間が経過しても事故への不安や事故のことを考えたくない気持ちがあることが分かる。

また、一般的な精神健康状態を示す GHQ20（一般健康調査票 20 項目版）において、調査時点における精神健康状態がよくないとされた人の割合は 58.0%と高い割合を示していたことから、事故の影響が継続していることがうかがわれた。このことは精神症状のみにとどまらず、社会活動や対人関係にも影響を与えていた。調査時点での事故後の生活の変化としては「外出する回数が減った（44%）」、「経済的に苦しくなった（24%）」、「趣味や遊びをしなくなった（23%）」、「仕事・学校を休みがちになった（19%）」など、さまざまな影響がみられた。

2. 交通事故とトラウマ

犯罪や災害、事故などで強い恐怖を体験すると、誰もがさまざまな精神的反応

をきたす。そのような場合には精神的反応が一時的なものにとどまらず、後々まで残るようになり、トラウマ（心の傷、心的外傷）を形成する。

トラウマは身体的なケガにたとえると、手足を失ったり、複雑骨折をしたようなもので、日常的な擦り傷と違ってそう簡単に直らないし、後遺症を残すこともある。精神的な後遺症としては、PTSD（心的外傷後ストレス障害）やうつ病などがあげられる。

もちろん、すべての交通事故がトラウマとなるわけではない。軽度の接触事故などでは精神的反応が小さく、後遺症なども見られないことが多い。

また、同じ事故でも人によって反応が異なることがある。平気で翌日から車に乗れる人もいれば、恐怖で運転ができなくなったり、交通量の多い道路を歩けなくなる人もいる。

交通事故がトラウマとなるのは、その事故の程度や負傷の程度、状況や被害者の恐怖感など、さまざまな要素が関係してくる。どのような場合に、そのような深い心の傷を残すのかということを以下に示した。

- ① その出来事の性質が、
 - ・ 生命の危機が存在したり重傷を負うようなものであった。
 - ・ 生命の危機や重傷を負う、あるいは著しい危害が加えられる可能性があった。
- ② 上記のような出来事を、
 - ・ 自分が体験した。
 - ・ 他人が体験しているのを目撃した。
 - ・ 家族など、自分の身近な人が体験したことを知った。
- ③ そのような出来事に直面したとき、
 - ・ 強い恐怖を感じたり、戦慄を覚えた。
 - ・ 自分にはどうすることもできないという圧倒されるような無力感を感じた。



したがって、その交通事故によってひどい負傷をして、生命の危険を感じたような場合にはトラウマになりやすい。また、実際にケガをしなかったり、軽度で

あっても自分が死ぬのではないかという強い恐怖を味わった場合にも、トラウマになる可能性がある。

その他に、悲惨な事故現場を目撃した人も、その光景が頭に焼き付いて離れなかったり、自分の身に起こったかのように恐怖を感じる場合がある。この中には、救援にきた消防士や警察官も含まれる。家族や恋人など被害者に近い立場にいる人も、被害者が悲惨な目にあったということに直面することによって強い衝撃を受ける。もし、亡くなった場合には突然の死というショックや悲しみ、喪失感を激しく感じるようになる。

このように一つの事故であっても、多くの人々がトラウマになってしまうことが考えられる。ここでは、まず交通事故を直接体験した人の一般的な反応について、時間経過とともに記述する。

3. 精神的影響の全体像

図-2 に急性期と慢性期にわけて交通事故による精神的反応の全体像を示した。まず大切なことは、多かれ少かれどのようなレベルであれ、なんらかの反応はきたすということである。こういった反応の多くはこのような事故にあった場合の、人間の正常な反応ということができる。ただし、正常と病的の間には明確な線が引けるわけではない。トラウマの正常な反応と病的な反応はその種類が違うというより程度の違いとして表れるものが多い。その症状が強くて、苦痛がひどかったり、社会生活や日常生活に支障をきたすような場合に医療が必要なレベルと判断される。

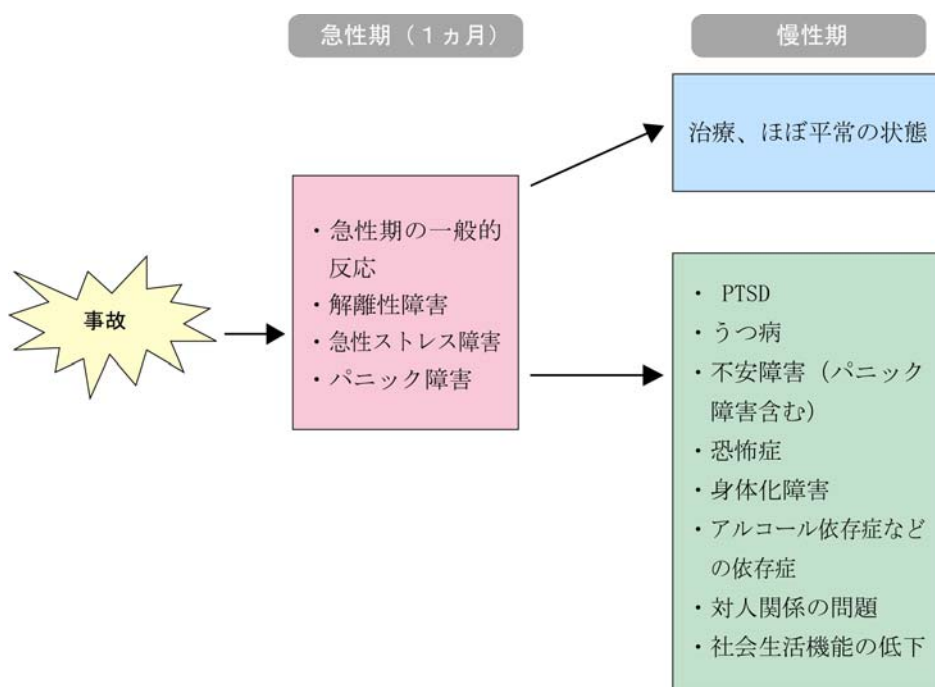


図-2 交通事故による精神的反応の全体像